

1 題材設定の理由

(1) 活動内容・項目

主たる内容・項目

- (1) ホームルームや学校の生活の充実と向上に関すること
ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
学校における多様な集団の生活の向上

関連する内容・項目

- (2) - ア 個人及び社会の一員としての在り方や生き方に関すること
社会生活における役割の自覚と自己責任

(2) 題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

高校生活にも慣れ、生活のリズムをつかみ始めた2学期は往々にして「中だるみ」の時期となることがある。学習意欲の低下、授業態度や提出物の状況の悪化、遅刻・欠席の増加、部活動への不参加等様々な問題行動が少しずつ露呈し始めるのがこの時期であろう。このような生徒がクラス内に複数見られるようになると、次第にクラス全体の士気が下がり、特定の教科のみならず多くの教科において意欲のない参加態度、あるいは教科担任に対する反抗的な態度を示すような雰囲気が出てくることがある。このような雰囲気に対し、教師が諦め感を持ったり、事態への介入法に悩み手をこまねくようなことになれば、いわゆる「学級崩壊」と呼ばれる状態にもつながりかねない。

このような事態への対応としては、「クラスの現状をどう思うか」「今のクラスの状態は自分の望むところなのか」について生徒自身に本音で語らせ、今後個人がどのようにしていくことがクラスのため、ひいては自分自身のためになるのかについて考えさせる、という「生徒から生徒」へ作用が及ぶ活動を導入することが有効な方法の一つであると考えられる。しかし、今の生徒の中には、言葉で直接自分の思いを相手に訴えることに抵抗を感じる者、反対に直接言葉で意見を言われることで深く傷つく者がいることも事実である。そこでこのプログラムでは「紙上討論」という手法を用いることで生徒の不安をできるだけ払拭し、生徒相互の意見の交流が最小限の抵抗の中で行えるよう配慮した。

(3) 指導法・指導上の留意点

無記名でよいこと、特定の個人を攻撃するようなことは書かないこと、善悪両面から書いてほしいこと等を伝え、併せていくつかの意見を後日クラス通信上で発表することを予告する。

第2時では、その意見を書いた者が誰であるか詮索しないこと、他者の書いた意見に対し悪意を込めた批判をしないこと、意見は口頭ではなく紙上で発表すること等を伝える。

生徒に意見を書かせるだけでなく、その生徒の意見を読んで教師自身がどう思ったかを話す。その際「あなた達は だ」という「Youメッセージ」(1)ではなく、「これを読んで私は と感じた」と「Iメッセージ」(2)で伝えるようにする。

1 相手の状態を指摘したり、非難するような話し方

2 相手の行為に対する自分の感情を伝える話し方

2 指導目標

(1) クラスの問題点について考え、自分の考えを紙上で発表する。

(2) 同級生の意見を読み、クラスの一員としての自分の在り方について考える。

3 指導計画

(1) 事前・事後指導

事前の指導 - クラスの現状について生徒の考えていることを把握する。

《本 時》 - 「クラスについて思うこと」の授業を複数回実施する。

事後の指導 - クラスの状況を見ながらテーマを変えて「紙上討論」を行う。

(2) 教科指導との関連

各教科においても「教師から生徒へ」だけでなく、「生徒から教師へ」「生徒から生徒へ」の意見交換がなされるよう配慮する。

4 指導案

(1) 指導過程

第1時

本時のねらい	クラスの問題点について考え、自分の考えを紙上で発表する。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (10分)	1 本時のねらいを把握する。	クラスの現状について担任が思っていることを「Iメッセージ」で伝える。	
展開 (15分)	2 「クラスについて思うこと」の用紙に自分の考えを書く。	無記名でよいこと、特定の個人を攻撃するようなことは書かないこと、善悪両面から書いてほしいこと、意見は口頭では言わないこと等を伝える。	「クラスについて思うこと」カード 【評価1】
まとめ (10分)	3 「クラスについて思うこと」の用紙を提出する。	この意見の中のいくつかをクラス通信に載せること、次回はそれを基に「紙上討論」を行うことを伝える。	

第2時以降(複数回)

本時のねらい	同級生の意見を読み、それに対する自分の考えを紙上で発表するとともに、クラスの一員としての自分の在り方について考える。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (10分)	1 本時のねらいを把握する。	前時の意見を読んで担任が感じたことを「Iメッセージ」で伝える。	
展開 (20分)	2 前時の意見が掲載されたクラス通信を読む。 3 クラス通信を読んで感じたことを「意見を読んで思ったこと」の用紙に書く。	誰が書いた意見かを詮索しないよう伝える。 同級生の意見に対し、悪意を込めた批判をしないこと、意見は口頭でなく紙上で発表することを伝える。	クラス通信 「意見を読んで思ったこと」カード 【評価2・3】
まとめ (10分)	4 「意見を読んで思ったこと」の用紙を提出する。	この意見の中のいくつかをクラス通信に載せ、次回再度「紙上討論」を行うことを伝える。	

最終回

この取り組みを通して担任が感じたこと、生徒に対する思い等を伝える。	【評価3】
-----------------------------------	-------

(2) 評価計画(評価の観点)

評価1 関心・意欲	「クラスについて思うこと」を意欲的に書いたか。
評価2 思考・判断	同級生の意見を読み、それに対する意見を書いたか。
評価3 知識・理解	クラスの現状に対する同級生の考えを理解し、自分自身の在り方を再考しようとする姿勢が見られたか。

5 プログラムの展開例

活動場所 教室

準備物 「クラスについて思うことカード」、クラス通信（もしくはそれに代わるもの）、「意見を読んで思ったことカード」

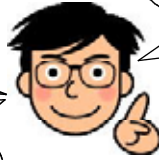
第1時

導入（10分）

- 1 本時のねらい・活動内容を把握する。

みんなは今のクラスの状態をどう思ってる？

私は、遅刻の多さやみんなの授業態度を見ているとちょっと悲しい気持ちになります。



そこで今日は、みんなが今のクラスの状態をどう思っているのか正直に教えて欲しいんだ。

クラスの現状について担任が思っていることを「メッセージ」で伝えながら活動内容を説明する。

展開（15分）

- 1 「クラスについて思うこと」の用紙に自分の考えを書く。

さあね.....

おい、何書く？



意見は口で言わないで用紙に書いて。名前は書かなくていいからね。

個人攻撃はしないでね。クラス全体の雰囲気について書いてね。

第2時以降

展開（15分）

- 1 前時の意見が掲載されたクラス通信を読む。

誰だ、こんなこと書いたの!?

それは詮索しない約束だよ。



「けじめがなく、うるさい」が.....

なーんだ、みんなも今の雰囲気が嫌だったんだ.....

- 2 クラス通信を読んで感じたことを「意見を読んで思ったこと」の用紙に書く。



悪意を込めた批判はダメだよ。

意見は「言葉」じゃなく「文字」で表現して下さい。

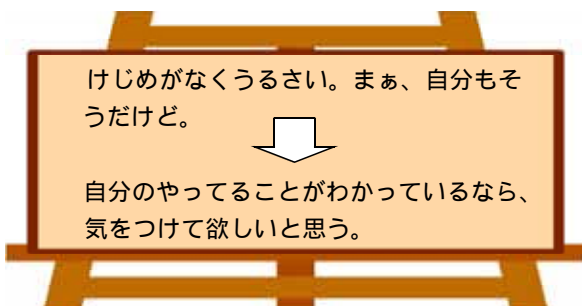


「紙上討論」の例

けじめがなくうるさい。まあ、自分もそうだけど。



自分のやってることがわかっているなら、気をつけて欲しいと思う。



最終回

まとめ（15分）

- 1 この取り組みを通して担任が感じたこと、生徒に対する思い等を伝える。



みんなが真剣に意見を書いてくれて、とてもうれしかったね。

6 生徒の反応（「クラスについて思うこと」実施後の感想から）

- ・ 紙上討論をやってみて、自分の中でクラスに対する意識が変わった。どうやったらもっと楽しく学校生活を過ごせるようになるか考えるようになった。
- ・ 紙上討論を行って、みんながクラスに対してどう思っているかがわかってよかったと思う。
- ・ うるさかった人が静かになった。自分も静かになったと思う。やってみて面倒くさいと思ったけど、クラスがちょっと変わったのでよかったと思う。
- ・ みんなの本音が聞けてよかった。
- ・ みんなの思っていることや先生に対して思っていることがわかったし、同じような意見の人がいたことも紙上討論からわかった。
- ・ クラスのみんなが心の中で思っていることを初めて知った気がした。
- ・ みんなの気持ちが分かり、物事を考えて行動するようになった。
- ・ みんなの考え（人に見せない面）を知ることができたと思う。紙上討論をやって少しは考えが変わった。
- ・ うるさい人が静かになった。ちょっとずつ静かになった人もいるからやってよかった。
- ・ 紙上討論はまあまあ楽しかったけど、クラスの状態は特に変わってないと思う。
- ・ クラスは一見何も変わっていないように思えるが、みんな素直になった。 等

7 「クラスについて思うこと」実施後の生徒の様子

自分の意見をきちんと言えるという自信がついたように見える。

自分達の意見なので、決めたことは責任を持って果たそうとする姿勢が見られた。

「きちんとやる」生徒を馬鹿にする風潮がなくなり、「きちんとやる」生徒の割合が増えた。周りを意識して実行に移せなかったこともできるようになった。

クラスの雰囲気が変わった。 等

8 授業者の感想

漠然とテーマを設定したわりにこちらの意図した意見が出てきた。生徒自身がクラスの問題点を発見し、改善しようとする意欲がみられ、期待していた以上にいい意見がでてきた。

クラス通信への意見掲載は今後のクラス運営の鍵となる大事なものなので、全員の意見を何度も読み、慎重に決めなければならず苦労した。

無記名での討論だったので安心して意見を出すことができたのか、生徒の意外な面・考えが表れていた。生徒指導の資料としても役立てられそうだ。

他者尊重ができてよかった。

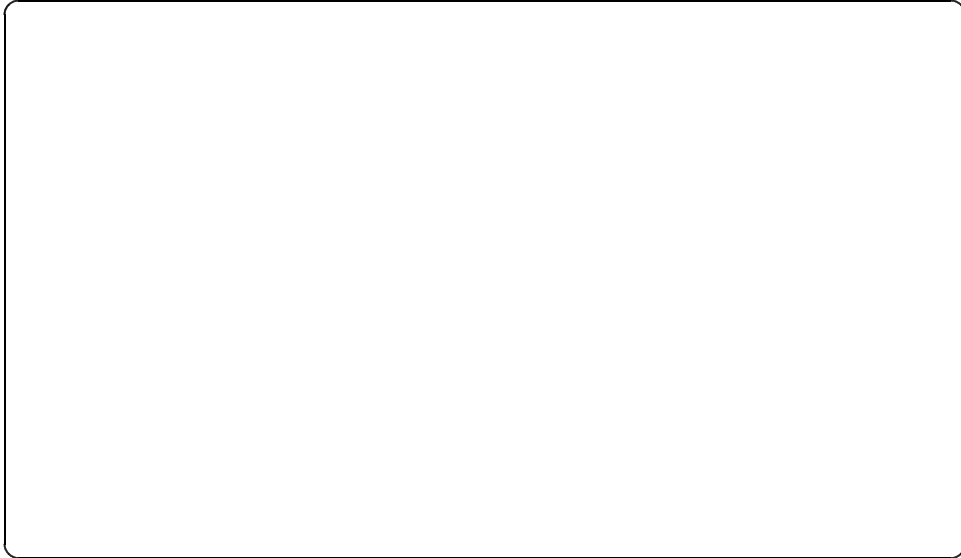
メリットこそあれ、デメリットはほとんどなかった。面白いほど効果が出てよかった。ただ、一つのテーマをどのくらいひっぱるかの頃合が難しい。今回は、たまたま生徒とのニーズが一致しただけに過ぎないのかもしれない。 等

9 引用・参考文献等

- ・「クラスを盛り上げる 担任のアイデア100連発」 おまかせHR研究会編 学事出版
- ・「エンカウターズスキルアップ ホンネで語る「リーダーブック」 國分康孝他編 図書文化

紙上討論 「クラスについて思うこと」

クラスの現状・雰囲気に関するあなたの意見を自由に書いて下さい。



紙上討論 「意見を読んで思ったこと」

同級生の意見を読んで思ったことを自由に書いて下さい。

